

# 第1回 積雪寒冷地域における道路舗装の損傷に関する有識者会議 議事要旨

日時:令和5年7月19日(水)10:30~

場所:中央合同庁舎3号館2階道路局C会議室(web会議)

出席者:

## 【有識者】

◎:座長

稲津 将 北海道大学 大学院理学研究院 教授  
◎亀山 修一 北海道科学大学 工学部 都市環境学科 教授  
高橋 茂樹 金沢工業大学 工学部 環境土木工学科 教授 (敬称略、五十音順)

## 【実務委員】

中村 浩 北海道開発局 建設部 道路維持課 道路保全対策官  
小山田 桂夫 東北地方整備局 道路部 道路保全企画官  
徳橋 良幸 北陸地方整備局 道路部 道路保全企画官  
黒田 健一 北海道 建設部 維持管理防災課 維持担当課長  
石川 康樹 秋田県 建設部 道路課長 (欠席)  
小林 雅史 山形県 県土整備部 道路保全課長  
小山 明生 新潟県 土木部 道路管理課長

## 【オブザーバー】

吉村 俊彦 水管理・国土保全局 防災課 防災政策調整官  
直原 史明 道路局 国道・技術課 道路技術分析官  
和田 賢哉 道路局 国道・技術課 道路メンテナンス企画室長  
中三川 浩 気象庁 大気海洋部 気候情報課長(代理出席)

## 【事務局】

道路局 環境安全・防災課 道路防災対策室  
国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 道路基盤研究室  
土木研究所 道路技術研究グループ(舗装)  
寒地土木研究所 寒地道路保全チーム

議事:

- (1)近年の気象状況と舗装損傷の発生状況について
- (2)舗装損傷に与える影響の想定とメカニズムについて
- (3)今後の進め方について

議事要旨:

- ・近年の状況として、積雪寒冷地域では冬期及び融雪期に降雨・融雪・凍結融解等の気象要因に起因すると推定される舗装損傷が目立つようになっている、というのが共通した認識
- ・最低気温だけではなく、冬場の降雨・融雪やゼロクロッシング日数に着目することは重要
- ・温帯低気圧の通過により寒暖が繰り返されるので、春先に平均気温が0℃前後であればゼロクロッシングが繰り返される可能性がある。春先の温帯低気圧に着目することは重要
- ・気温が高くなると大気中に含まれる水蒸気量が増加するので、将来的に低気圧の通過で急に強い雪が繰り返し降ることが増えていく可能性がある
- ・近年の気温の変化を分析する場合、気象学で統計的に扱う場合は10年間では不十分であり統計期間を伸ばすべき
- ・北欧でも気候変動の影響か、冬の間でも気温がプラスになってまた凍る現象が近年目立ち始め、凍結融解の繰り返しが舗装に与える悪影響を懸念している
- ・表層と基層の間がくっついていない層間剥離が発生している可能性がある

以上